

Title	藝文研究既刊總目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1955
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.5, (1955. 11) ,p.135- 136
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00050001-0135

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究 既刊總目次

◇第一號（一九五一年）美術學特集

創刊の辭……………西脇 順三郎

ミケルアンデエロの聖母……………守屋 謙二

光琳肖像考……………菅沼 貞三

江戸板木繪第一回の開花期……………澁 井 清

播磨國常福寺裏山經塚出土品に縁つて……………保坂 三郎

大佛師康助の遺作に就いて……………岡 直己

Palazzo Pitti——その原作者の問題について……………相内 武千雄

彙報

◇第二號（一九五三年）

物語の成長——宇津保物語の場合……………池田 彌三郎

俳諧月花の座……………清崎 敏郎

ジョン・セルデンのこと——その「茶話」をめぐつて……………藤 井 昇

ジュリアン・グリーンの内心の旅路……………佐分 純一

ブッデンブロック以前……………江澤 建之助

西ドイツ文學活動の展望……………田中 次郎

彙報

◇第三號（一九五四年）

實用の文學——女と花……………森 武之助

住吉物語以後——繼子苛め譚の類型に関する一考

祭……………松本 隆信

聊齋志異研究序説——特に蒲松齡の執筆態度に就いて……………藤田 祐賢

Centee] Tradition の崩壊……………安原 基輔

アンドレ・マルロオの「孤獨」……………大濱 甫

北野天神縁起繪卷の諸特徴……………八代 修次

クライストの悲劇性……………高橋 文雄

彙報

◇第四號（一九五五年）

傳統の周圍——芭蕉・西鶴……………森 武之助

寺院僧侶の國典研究——主として中世をとりあげて……………佐々木 一雄

曾我物語傳承論……………塚崎 進

紅樓夢の小説性——周汝昌の「紅樓夢新證」をめぐって——

村松 暎

若きヘッセの人生態度乃至世界観……………井手 貢夫

反抗と絶望の黒人作家——Richard Wright——……………安原 基輔

現代英文法の諸傾向——特に口語法について——

……………原澤 正喜

折口信夫教授講義題目

慶應義塾大學所藏聊齋關係資料目錄

彙報

編集後記

◎本號も特定の主題に限らぬ研究業績の集積である。

◎會員の活動狀況は、なるべく多く記載したいので、たえず御連絡下さい。

◎「藝文研究」第一——第四號の購入を御希望の方は、本會事務所に御照會下さい。(各號定價二〇〇圓、送料二四圓)